

踏み跡 <My Mountains>

北アルプス	種池から針ノ木岳と船窪岳	No.177
-------	--------------	--------

昭和48年9月19日 <夜行列車で出発>

新宿発 23時45分アルプス11号。

国鉄順法闘争の影響で出発が20分遅れたため、9月20日になってしまった。

昭和48年9月20日 <信濃大町→扇沢→種池→新越乗越>

信濃大町着6時20分。曇り空ながら目の前に広がる山並み、「来たぞ!」という感じがする駅頭だ。扇沢行の一番バスに乗り、扇沢着は7時ちょうど。種池に入る入口の扇沢橋で朝食(おにぎり三個に紅茶)。種池を目指しての登り道で霧雨となり二時間ほど歩いたらかなり濡れてしまった。あわててポンチョを着たら15分ほどで止んでしまった。

種池小屋10時55分。2600mの主稜線まで到達すればひと安心、後は辛抱強く尾根の起伏を越えて行くのみ。爺ヶ岳に入った時以来四年ぶりだ。あの時は残雪期だったが、今は秋の山。

小屋で昼食(ラーメン半分、おにぎり一個、紅茶)。

休憩料50円を払って12時05分出発。

岩小屋沢岳への道で五羽のライチョウと遭遇。しばし立ち止まって見とれる。

岩小屋沢岳13時20分。また霧雨が降ってきた。

新越乗越14時。針ノ木小屋まで足を伸ばしてもこの天候だし、小屋は無人だし……。

今日はここまでとし、宿は新越山荘とする。

一泊二食+明日の弁当付き 2200円。

霧雨とはいえ雨だれの音が聞こえるほどの降り方になってきた。ズボンを乾かして二時間ほどの昼寝。

17時30分夕食。炊事しないで食べるだけの食事は早い。食事の後は明日の作戦検討。

明日は、天気良ければ船窪まで(ガイドブック上のデータでは12時間の)長丁場。この勝負に備えて弁当を頼んだが、天気が悪ければここで停滞。10数年山をやっていると昔のようにガツガツしなくなってきた。天気が悪ければ、良くなるまで寝てればいい。その代わりに天気が良かったら気が済むまで歩けばいいだろう。今回は小屋泊まりのつもりではあるが、ツェルト・シュラフを持ってきたので、船窪までたどり着けなかったらどこかで野営することにする。

19時45分センベイ布団に潜り込み就寝。

10か月になる娘の可愛い顔を突然思い出した。ちょうど今頃が寝る時間に違いない。

昭和48年9月21日 <新越乗越→スバリ岳→針ノ木峠→蓮華岳→船窪小屋>

起床5時40分、天気は曇り。シャツはすべて乾いて快適な着心地になった。

昨日の霧雨とは打って変わって視界は完璧。朝食を食べて6時30分出発。

鳴沢岳7時05分、谷間を見下ろすと黒部湖とロープウェイの駅がよく見える。黒部の谷の向こう側に黄色く染まった五色ヶ原の紅葉がきれいに見える。

右手に黒部湖を見下ろしながらの歩きが続く。赤沢岳7時45分、小気味よく歩が運ぶ。

スバリ岳9時20分、針ノ木岳10時05分。ここで一息10分の小休止。

針ノ木峠10時30分。針ノ木小屋(通称:ヒュッテおこんじ)で昼食。メニューはパン、バター、チーズ、キュウリにマヨネーズ、紅茶。11時30分出発。



踏み跡 <My Mountains>

「静寂」という言葉を絵に描いたような静けさ。遠くの山は雲の中に姿を消し始め、天気もそろそろそっぽを向き始めてきた。船窪までまだ5、6時間あり、ちょっと心配。

蓮華岳 12時、小雨がちらつき始めてきた。蓮華の大下りを下りきって 12時30分。

北葛岳 14時10分、七倉岳を下って船窪小屋へ 15時30分に到着。予想より早く到着できた。

今日は無人小屋に宿泊。

昭和48年9月22日 <船窪小屋で停滞>

3時に目が覚めたら雨。9時に起床。

シュラフの脇に置いてあったザックのポケットに穴があいている。ネズミにやられたようだ。被害を確認すると、ノースカロライナー袋と板チョコ3/4が消えてしまった。同宿の男はサラミソーセージ半分とラーメン一個半を中心に主食と行動食を失ったとのこと。

朝食は、昨日新越山荘で作ってもらった弁当の「アルファ混ぜご飯」とラーメンを組み合わせて「ラーメンおじや」。食事の後は、雨に逆らわず読書と焚火とごろ寝。お昼になっても雨は止まず。

13時30分七倉から上がってきた大阪の二人組のパーティが到着し、小屋の中は四人になった。針ノ木まで進む予定だと言うので、コースの状況と天候の読みを聞かせてここに留まるように説得した。

岳樵の根を数本見つけて四人で焚火と紅茶と雑談。

17時夕食。ハインツスープにアルファ混ぜご飯を加えておじや、デザートは紅茶をたっぷり。

何も歩かず運動不足ではあるが、暗くなればちゃんと眠くなった。

昭和48年9月23日 <船窪小屋→七倉岳→葛温泉→信濃大町→帰京>

5時30分起床、雨は上がり高曇り。今日は下山するだけなので焦りはない。

目の前に不動岳とその右にニセ烏帽子。(右上スケッチ)

7時出発。早速七倉岳でゆっくり休んで景色を楽しむことにした。高瀬川対岸の唐沢岳をスケッチ。(右下スケッチ)

下りに入ってから何度となく景色を楽しみながら休憩をとり、余裕のある山歩きを楽しんだ。

鼻付き八丁の最下部でトマトジュースを飲んで、最後のパワーアップし七倉沢出合いに 10時05分着。

葛温泉(高瀬館前) 10時30分着。これにて全行程の終了。

信濃大町で昼食をとり、昼間の列車で早めの帰宅となった。

以上

